



2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月12日

上場会社名 日本和装ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2499 URL <https://www.wasou.com/profile/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 道面 義雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 鶴野 尚史 TEL 03-5843-0097
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	3,584	15.8	243	—	250	—	149	—
2020年12月期第3四半期	3,095	△22.6	△137	—	△144	—	△168	—

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 153百万円 (—%) 2020年12月期第3四半期 △169百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	16.44	—
2020年12月期第3四半期	△18.63	—

(注) 2020年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。2021年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	9,064	3,171	35.0
2020年12月期	8,905	3,127	35.1

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 3,171百万円 2020年12月期 3,127百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2021年12月期	—	5.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	7.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

配当予想の修正につきましては、本日（2021年11月12日）公表いたしました「通期業績予想の上方修正及び期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,134	12.8	320	99.9	320	104.2	190	101.3	20.96
	～5,234	～15.0	～400	～149.9	～400	～155.2	～250	～164.9	～27.58

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

連結業績予想の修正につきましては、本日（2021年11月12日）公表いたしました「通期業績予想の上方修正及び期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 1社（社名） Nihonwasou Asia Pacific Holdings Pte.Ltd.、 除外 1社（社名）

(注) 詳細は、添付資料 7 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期 3 Q	9,134,000株	2020年12月期	9,134,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期 3 Q	68,400株	2020年12月期	68,400株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期 3 Q	9,065,600株	2020年12月期 3 Q	9,065,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、7月に一部地域において4度目となる緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が発出され、依然として新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けることとなり、個人消費やインバウンド需要消失など経済活動が制限される厳しい状況が継続しました。一方で、ワクチン接種の普及が進み、緊急事態宣言の解除により、徐々に経済活動の正常化に向けた動きへの期待感が高まりつつある状況にあります。

このような状況のもと、当社はお客様や取引先企業、スタッフの健康と安全を最優先に考え、スタッフの体調管理や手指の消毒、マスク等の着用、換気といった感染防止対策を徹底いたしました。

当第3四半期連結会計期間における業績面につきましては、順調であった第2四半期連結会計期間の状況が引続き継続した結果となりました。8月には第14回となる「きものプリリアンツ全国大会」を帝国ホテルで開催いたしました。昨年に引き続き今回も新型コロナウイルス感染症対策の中で行われた大会となりましたが、参加者、会場提供者、運営会社など関係する皆様のご協力のもと、好評裏に終えることができました。

8月より秋の「超・着付け教室」の募集を開始し、9月から順次開講しております。また、富裕層の方向けにはエグゼクティブ限定コースを行っております。新型コロナウイルス感染症対策を十分に実施するだけでなく、より一層、お客様にきもの魅力を感じていただけるように、質の高いサービスを提供してまいります。グループ会社（ニチクレ株式会社及び株式会社はかた匠工芸）の業績についてもシナジー効果の強化により、順調に推移いたしました。

今後は当社の「教えて・伝えて・流通を促す」という従来のビジネスモデルのメインブランドに加えて、サブブランドの創造にも注力してまいります。サブブランドでは、これまでは対面で教え伝えていたものをオンラインも活用して、当社メインブランドよりも低年齢層となる20代から40代をターゲットとして市場や新規顧客を開拓し、販売へとつなげてまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績につきましては、売上高3,584百万円（前年同四半期比15.8%増）、営業利益243百万円（前年同四半期は営業損失137百万円）、経常利益250百万円（前年同四半期は経常損失144百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益149百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失168百万円）となりました。

なお当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心とした、きもの関連事業の単一セグメントのため、セグメント情報に関連付けた記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は8,648百万円となり、前連結会計年度末に比べ185百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が116百万円、営業未収入金が81百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は416百万円となり、前連結会計年度末に比べ26百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が10百万円、投資その他の資産が11百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、9,064百万円となり、前連結会計年度末に比べ158百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,935百万円となり、前連結会計年度末に比べ186百万円増加いたしました。これは主に前受金が239百万円、流動負債のその他が328百万円増加した一方で、短期借入金が410百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は1,957百万円となり、前連結会計年度末に比べ71百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が71百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、5,892百万円となり、前連結会計年度末に比べ114百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は3,171百万円となり、前連結会計年度末に比べ44百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益149百万円及び剰余金の配当108百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は35.0%（前連結会計年度末は35.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期の実績が2021年2月12日に公表いたしました予想を上回ったことから、通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2021年11月12日）公表の「通期業績予想の上方修正及び期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

<第3四半期の事業の概況等に関する社長のコメント>

新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言が発出される中、日本和装ホールディングスグループとしてコロナ禍と呼ばれる社会情勢の中で2年目の第3四半期を迎えました。

2021年12月期四半期連結業績推移

		第1四半期 (1月～3月)	第2四半期 (4月～6月)	第3四半期 (7月～9月)	累計
売上高	売上高	960,155千円	1,362,742千円	1,261,878千円	3,584,777千円
	前年同期比増減	△247,110千円	731,994千円	4,317千円	489,201千円
	増減率	△20.5%	116.1%	0.3%	15.8%
営業利益 又は営業損失	営業利益	△84,716千円	229,601千円	98,771千円	243,656千円
	前年同期比増減	△111,071千円	596,793千円	△104,958千円	380,763千円
	増減率	—	—	△51.5%	—
経常利益 又は経常損失	経常利益	△75,355千円	228,543千円	97,534千円	250,723千円
	前年同期比増減	△90,123千円	595,130千円	△109,441千円	395,565千円
	増減率	—	—	△52.9%	—
四半期純利益 又は四半期純損失	四半期純利益	△68,622千円	171,437千円	46,204千円	149,019千円
	前年同期比増減	△67,340千円	509,466千円	△124,218千円	317,908千円
	増減率	—	—	△72.9%	—

上記の推移表の通り、第3四半期（7月～9月）としては営業利益、経常利益共に黒字で推移しております。前年四半期の営業利益、経常利益と比較すると営業利益は△104,958千円、経常利益は△109,441千円での着地となっております。1月から9月までの累計の連結の売上、営業利益、経常利益、当期純利益共に、前年よりも当期は順調に推移しており、業績予想の上方修正を本日発表させて頂きました。営業利益、経常利益、当期純利益が上方修正に至った要因としては、昨年から続くパンデミックによる社会状況下の中で事業の舵を執る上で、主に販売促進費などをコロナ禍前より保守的に計画しコストコントロールを強化してきました。その理由として、いどこで新型コロナウイルス感染症の影響が起り得るか分からない中、どのような状況下でも対応できる様にと考えておりました。コロナ禍と呼ばれる状況下でも当社はほぼ想定通りの売上の獲得ができ、結果的に保守的に考えていた費用計画と管理が利益の増加へと繋がりました。また、グループ会社とのシナジー効果を強化したことも利益の増加要因となっております。

コロナ禍前と後では、多くの皆さんの生活様式が一変し、先行きが不透明な場面が多様にある中でも当社の「教える」・「伝える」・「流通を促す」というビジネスモデルは、コロナ禍になった昨年の売上、利益を超えた数値を計上出来ることとなりました。上方修正と共に合わせて発表させて頂きました通り、期末配当につきましては、復活した業績を記念して「コロナからの業績復活記念配当」を普通配当の6円とは別に1円配当することといたしました。応援して下さる株主様に還元出来ればと思っております。また、コロナ禍の中でも当社の事業を支えてくれている従業員に対しても賞与などでの還元を行い、そして来年度からは従業員の待遇を手厚くしていくことを会社の一つの方針として考えております。

株主の皆さまをはじめ、多くのステークホルダーの皆さまに引き続き日本和装グループを応援して頂ければ幸いです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,631,186	2,747,432
営業未収入金	218,297	299,706
割賦売掛金	5,045,980	4,985,159
たな卸資産	163,316	170,835
その他	469,352	517,207
貸倒引当金	△64,744	△71,678
流動資産合計	8,463,388	8,648,662
固定資産		
有形固定資産	184,416	173,989
無形固定資産	15,631	11,120
投資その他の資産	242,408	231,009
固定資産合計	442,456	416,119
資産合計	8,905,845	9,064,782
負債の部		
流動負債		
営業未払金	47,644	30,089
短期借入金	2,795,838	2,385,421
未払法人税等	50,812	61,462
前受金	340,251	579,825
営業預り金	21,240	56,262
その他	493,433	822,159
流動負債合計	3,749,219	3,935,220
固定負債		
長期借入金	2,022,278	1,950,920
その他	7,074	6,739
固定負債合計	2,029,352	1,957,659
負債合計	5,778,572	5,892,879
純資産の部		
株主資本		
資本金	478,198	478,198
資本剰余金	292,211	292,211
利益剰余金	2,384,772	2,425,005
自己株式	△22,629	△22,629
株主資本合計	3,132,553	3,172,785
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△5,280	△883
その他の包括利益累計額合計	△5,280	△883
純資産合計	3,127,272	3,171,902
負債純資産合計	8,905,845	9,064,782

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	3,095,576	3,584,777
売上原価	398,420	330,409
売上総利益	2,697,155	3,254,367
販売費及び一般管理費	2,834,263	3,010,711
営業利益又は営業損失(△)	△137,107	243,656
営業外収益		
受取利息	63	37
助成金収入	21,650	38,235
その他	2,343	4,469
営業外収益合計	24,058	42,742
営業外費用		
支払利息	16,925	20,683
支払手数料	12,196	13,762
その他	2,671	1,230
営業外費用合計	31,792	35,675
経常利益又は経常損失(△)	△144,841	250,723
特別損失		
減損損失	—	17,261
特別損失合計	—	17,261
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△144,841	233,461
法人税、住民税及び事業税	26,879	79,411
法人税等調整額	△2,832	5,029
法人税等合計	24,046	84,441
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△168,888	149,019
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△168,888	149,019

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△168,888	149,019
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△573	4,397
その他の包括利益合計	△573	4,397
四半期包括利益	△169,461	153,416
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△169,461	153,416

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、Nihonwasou Asia Pacific Holdings Pte.Ltd.を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症による当社グループ事業への影響につきましては、当連結会計年度末にかけて収束していくとの仮定のもと、固定資産の減損会計及び繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。この仮定については、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した仮定から重要な変更はありません。

なお、今後の経過によっては実績値に基づく結果が、これらの見積り及び仮定とは異なる可能性があります。

(セグメント情報等)

当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心としたきもの関連事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。